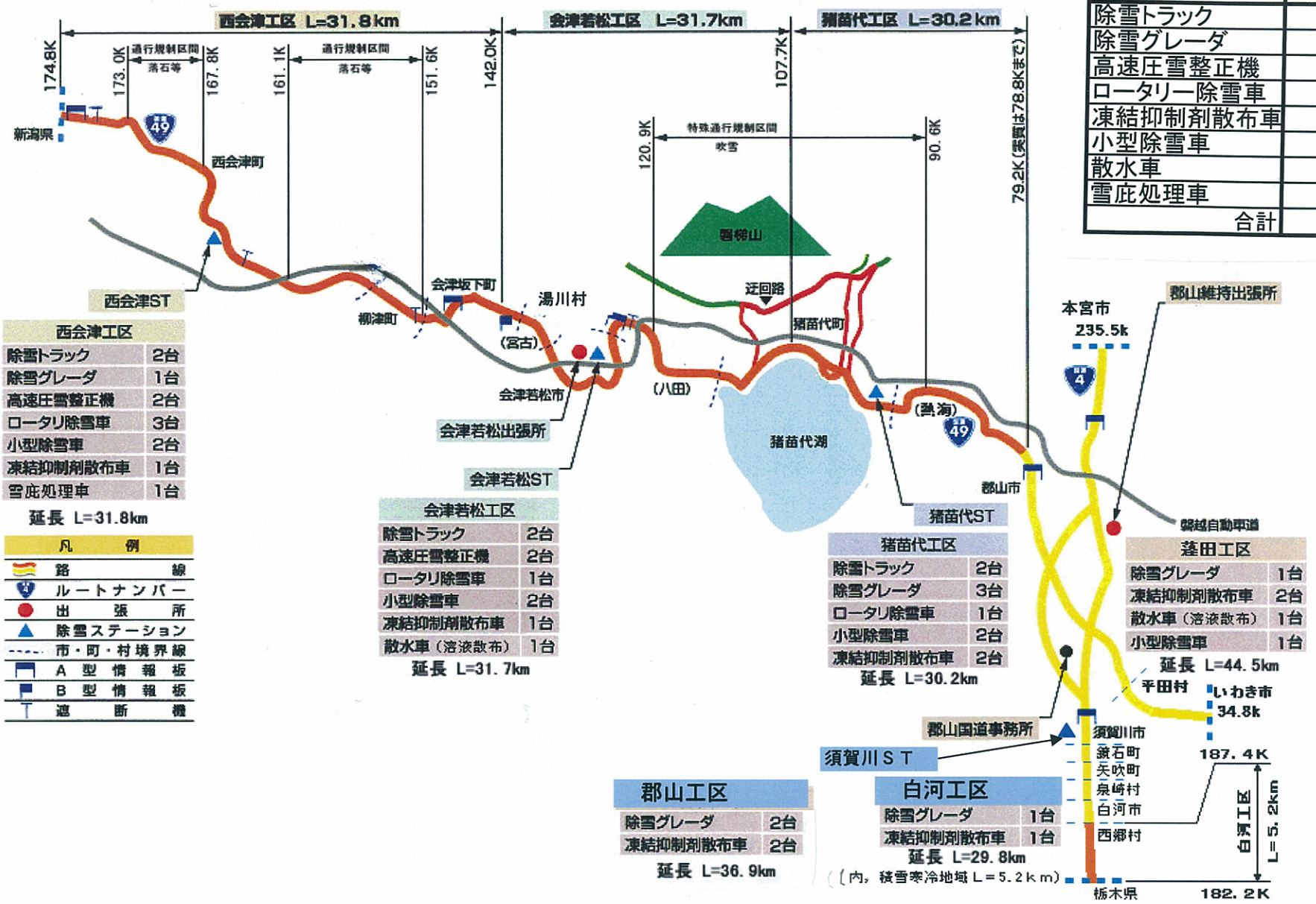
平成19年度　除雪機械配置計画

郡山国道事務所除雪機械

機械名	台数
除雪トラック	6台
除雪グレーダ	8台
高速圧雪整正機	4台
ロータリー除雪車	5台
凍結抑制剤散布車	9台
小型除雪車	8台
散水車	1台
雪庇処理車	1台
合計	42台



凍結抑制剤（湿潤式）散布車の導入

概　　要

冬季の路面凍結により交通傷害が予想される場所（坂道、カーブ、橋の上、交差点、インター出入口、日陰部等）に凍結抑制剤として塩を散布しています。凍結抑制剤の散布には専用車両を使用していますが、乾燥した塩は風や車両通行により飛散（ロス）し、路面に定着せず効果が十分に発揮さない問題が有りました。そこで、今回導入車両は塩を水で湿らせることにより、路面に付着しやすく飛散（ロス）を防ぎます。



１．規　　格：３ｔ級、４×４、湿潤式、路面整正装置（除雪装置）付

２．納入台数：１台（福島県内では初導入）
（東北地方整備局管内では、酒田河川国道１台、山形河川国道１台）

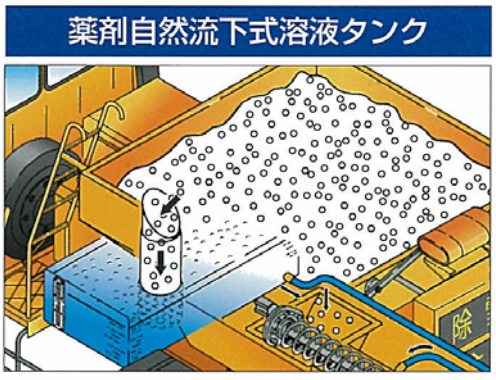
３．導入場所：蓬田工区　４９号（平田村鴇子 35.6kp ～郡山市喜久田交差点 78.25kp）

４．納入時期：１１月１４日（水）予定

５．主な特徴

薬剤自然流下式溶液タンク

車両に搭載した塩を水タンクに自動的に入れ塩化ナトリウム溶液を生成します。
路面散布の際には、乾いた塩に生成した溶液を吹き付け濡れた塩の状態で散布します。
そのため、専用溶液の購入や除雪ステーションに溶液保管タンクの設置が必要なくなるので、経費や設備費の軽減が図れます。



ホッパ内への薬剤投入時、同時に溶液タンク内に薬剤が供給され自動的に溶液が生成されます。